



The Rotary Club 06 Hamamatsu Siyou Weekly Report 浜松志耀ロータリークラブ 週報

浜松志耀ロータリークラブ 第56回例会

開催日時: 2025年5月22(木) 午前 7:30 ~ 8:30

開催場所: オークラクトシティホテル浜松 3階 チェルシーの間

■ 会長挨拶 小川会長



皆様、おはようございます。

先週5月15日(木)例会後の理事会では、次年度のクラブ運営に関する話し合いが行われました。次年度のクラブ事業計画書については、すでに骨子(こし)がある程度まとめられており、方向性も少しずつ形になり始めている様子を拝見いたしました。お二人なりに真摯に準備を進めてくださっていることに、あらためて感謝申し上げます。

一方で、理事会を終えた後、私はふと、当クラブの「設立趣意書」を読み返したいという気持ちが湧いてきました。創立会長である小澤さんが、クラブを創るにあたって込められた理念や願いを言葉にされた、まさに当クラブの原点とも言える文章です。今回はその想いを皆様と共有したく、事前に趣意書をお読みいただくようお願いをいたしました。お忙しい中、目を通してくださった皆様には心より御礼申し上げます。

その中で心に残ったのは、ロータリークラブが「人格を磨き、行動を律する場」であるべきだという思想です。ロータリーは単なる奉仕団体ではなく、仲間とともに自身の在り方を問い直し、より良くあらうとする意志を持ち続ける——そうしたクラブ像が明確に示されていたように感じました。私自身、この一年間、会長として「このクラブはどこへ向かうべきか」「私たちは何のために集っているのか」と自問自答を繰り返してきました。日々の運営に追われる中で、やるべきことばかりが先行し、「なぜやるのか」という本質が見えにくくなることも正直ありました。だからこそ今、あらためて設立当初の理念に立ち返ることには、大きな意味があるのではないかと感じております。

次年度の会長・幹事を担うお二人には、それぞれの考え方やスタイルがあると思います。やり方に正解はありませんし、自由な発想こそがクラブの活性化につながると私も思っております。しかしながら、私たちが属するこのクラブが、どのような理念のもとに生まれたのか。その“精神的な土台”を共有し、そこにどう向き合っていくかという姿勢は、リーダーとしてだけでなく、一人のロータリアンとしても大切にすべき視点だと考えております。ロータリーの本質的な魅力は、華やかなイベントや肩書きにあるのではなく、日々の例会や仲間との何気ない会話、そして地域との小さな関わり合いの中にあります。その中で私たちが「成長したい」「誰かの役に立ちたい」と思えること、それこそがロータリーの価値であり、醍醐味だと私は信じています。

浜松志耀ロータリークラブは、まだ設立から間もない若いクラブです。だからこそ、柔軟であって良いと思いますし、型にとらわれすぎる必要もありません。一方で、設立当初に掲げられた理念や価値観を軽視することなく、時代に合った形で受け継いでいくことも、私たちの責務ではないでしょうか。

残すところ、私の会長挨拶もあとわずかとなりました。このようなタイミングで、皆様とともに設立趣意書を読み返し、原点に立ち返る時間を持てたことを、会長として本当にありがたく思っております。このクラブが、これからも「志ある仲間とともに成長し、地域とともに歩んでいく場」であり続けるよう、微力ながら最後まで努めてまいります。

本日も宜しくお願い致します。

■ 幹事報告 田淵幹事

1. 配付資料一次年度の、①組織図、②例会予定をお配りしています。
2. ロータリーの web サイトが多数有ります。皆様のメールアドレスで「My Rotary」を登録して下さい。
「My Rotary」から、様々な リンク先の web サイトをご覧下さい。

■ 議事 クラブ協議会

1. 次年度の組織図と例会予定について 西川 年度幹事
 - ・次年度の、各委員の所属先について説明しました。
 - ・次年度の24回の例会について、概要を説明しました。
2. 各委員会での協議 衛藤会長エレクト
 - ・各委員会ごとに、委員会の所管事項を確認すると共に、担当例会について話し合いました。



■ スマイル

- ① 衛藤会長エレクト クラブ協議会への御礼

※出席率: 78 % (会場18名 + BAND 7名 = 25名 / 32名)

国際ロータリー第2620地区 静岡第5グループ 浜松志耀ロータリークラブ
例会場/オークラクトシティホテル浜松 第2・第4木曜日/7:30-8:30 090-7682-7106

